

2025年度 第4回藤沢市立大越小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2025年 11月 26日（木） 10時～
場 所 大越小学校 スタジオ

出席委員	<p>齊藤 正枝（青少年育成協力会会長・善行三者ふれあいネットワーク会長） 石塚 義之（善行市民センター長） 三堀 眞知子（善行町内会総務部長・社会福祉協議会理事） 松本 美由紀（善行地区CSW） 上原 いづみ（元小学校校長） 萩原 茉莉子（令和6年度PTA会長） 石井 正悟（令和7年度PTA会長） 田島 愛里（学生ボランティア） 丸谷 英之（大越小学校長）</p> <p style="text-align: right;">以上 9名（欠席2名）傍聴人 0名</p>
次第	<p>1 開会のあいさつ 2 前回協議会の議事録確認 3 議題 回団体の役割と事業等について 4 事務連絡</p>
協議内容	<p>議題 各団体の役割と事業等について 活動に参加しての各団体・個人からの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援を2回参加したが、ミシンの使い方を伝えることの難しさを実感した。子どもたちが主体的に取り組んでいくために、先生方が工夫してくれていることに気づかされた。初めてのことで、体験を行うことで意欲的に取り組むことができると感じた。来年度も支援をしていければと思った。 ・社会福祉協議会として、福祉体験教室や車椅子体験教室などで児童とかかわることがあった。夏休みには、水やりとフィルム貼りに参加して、教職員の仕事の多さに気づくこともあったが、教職員が仲良く活動している姿を見ることができた。 ・3年生の町探検に参加した。教員は異動があるので、継続して取り組んでいくためには、地域の力を借りて活動することが良いと思った。 ・ミシン学習の授業に地域の方がいることで意欲的に取り組むことができていたようだった。先生以外の大人との触れ合いに新鮮さを感じることもできたようであった。 ・ミニ寺子屋づくりに向けて、駅前カフェなど地域の協力者とのつながりを今後も行っていければと思っている。 ・市民センターで夏に生涯学習事業を行った。「すぐーる」を導入したが、紙での配布も行ったため、参加率が高かった。来年以降もご協力いただけるとありがたい。 ・防災訓練にも子どもたちが参加してくれた。「ふるさと祭り」にも多くの子どもが参加してくれ、普段、センターに来ない児童についても来る機会を作ることが

できた。

- ・地域ネットワークの再構築を目指してきた。PTA では、昨年度からポイントタッフを導入して一人でも多くの人にかかわってもらおうと活動を続けてきた。
- ・コミスクを中心に活動が増えてくる中で、それに対応した組織改正も行った。
- ・給食試食会もコミスク主催で行っていた。
- ・児童の見守りに参加したが、子どもたちが地域の人にあいさつができていて、地域の子として誇らしかった。
- ・三行詩を募集したが、作品から子どもが思っていることを感じ取ることができた。
- ・紙飛ばし大会など、ボランティア証明書を発行している。来年度からは高学年のボランティアをお願いするかもしれない。
- ・夏休みの水やり、3年生の引率に参加した。
- ・運動会などの行事で、子どもたちの得意な分野で活躍してほしい。

【校長より】

- ・学習支援でのご協力に感謝しています。
- ・コロナ禍での運動会の開催方法が変わってきたが、この行事を通した子どもたちの成長は大きい。今の時代に合った形で今後も引き継いでいきたい。
- ・支援ルームについて、地域の方、PTAの方に運営面からも参加していただき、感謝申し上げます。支援ルームを必要とする児童の為に必要なものを校内から集めて活動していたが、「安心・集中・清潔」のコンセプトのもと、駅前家具屋さんや教材屋等のノウハウを参考にしている。
- ・支援ルームの壁を塗り直すことを検討しているので、取り組み状況を次回も報告していきたいと思っている。
- ・桜・池の整備について、県の事業に応募していたものが、選ばれた。今後、詳しい知識のない教職員でも持続可能な管理が出来るような整備を行う。
- ・生物保護委員会が中心となって池のデザインやレイアウト考えていき、2月頃の完成を目指す。
- ・桜については、2・3本のマテバシイと河津桜の植樹を55周年行事と関連して行っていきたい。
- ・教職員が主体となって活動することが子どもたちのためになることが大事。

【事務連絡】

- ・校外活動等の引率・見守りについて
- ・次回開催について

次回開催日程

2026年 2月 20日(金) 10時～

場所 大越小学校スタジオ